

価値創造の源泉

異次元の素材メーカーへ 「チーム日軽金」で新たな価値創造へ

アルミ素材技術

アルミ製錬事業会社としてスタートした当社グループの技術的なコアには、素材としてのアルミニウムに徹底的に向き合った知識と経験があります。それを象徴する存在がグループ技術センターです。

グループ技術センターについて

当社グループは、研究・開発の拠点としてグループ技術センターを保有しています。同センターは、1961年4月にアルミナ、アルミニウム電解、アルミニウム素材の研究・開発のため、日本軽金属(株)の子会社として設立された(株)日本軽金属総合研究所をその起源とします。その後、1984年から(株)日軽技研に統合されましたが、オイルショックを経て当社グループの事業の中心がアルミ製錬からアルミ加工へと急速

に推移していく中で、ベースとなるアルミ素材技術に加え、さまざまな加工技術に関する学術的知見を蓄積してきました。1995年に日本軽金属(株)に統合されて以降は、新たな価値創造のための研究・開発の拠点として、事業部門のサポート、複数の技術の組合わせによる価値創造(横串活動)の推進、新しい要素技術の開発を研究・開発の3本の柱として、日々活動を行っています。



多様な市場分野

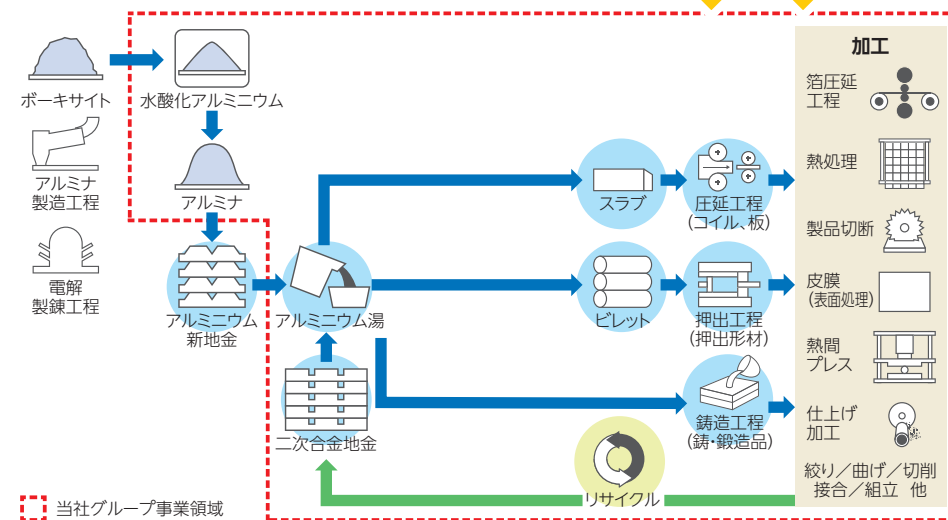
多様な加工領域での事業展開の結果として、当社グループには、各分野における世界トップ企業を含むさまざまなお客様との取引関係があります。当社グループは、これまでの新規技術を利用して事業化を目指すプロダクトアウト側の研究開発から、市場のニーズに対して、新規技術や既存技術を組み合わせながら新たな商品を作り出していくマーケットイン型の研究開発への進化を目指しています。多様な分野のお客様の声は、多様な市場ニーズを捉える重要な情報源となっています。



事業領域の拡大と 技術領域の拡大

オイルショックを契機とした電力コストの高騰により、製錬事業においてコストや事業規模での海外企業への対抗が難しくなったことを背景に、アルミ加工領域への事業拡大を続けてきました。結果として、当社グループは多様なアルミ加工技術の多くを、グループ内部の各種事業を通じて保有しています。

近年では、お客様側の設計やサプライチェーン構築への関与を通じ、これらの多様な技術を柔軟に組み合わせる体制が取られています。



多様な加工技術

アルミニウムは溶融温度が低く、また一般的な金属よりも低い温度で柔らかくなり成形しやすいことから、さまざまな技術で製品に加工されています。当社グループはこれら多様な加工技術を用いて幅広い分野で事業を行っています。

多様な価値の提供

グループ連携の強みを徹底的に追求し、 お客様の新しい価値を創造

事業グループ・事業部門のマーケティング支援で、チーム日軽金の効果を最大限に活かす



社内外の知見を結集した新事業で
社会課題を解決へ



多様な市場分野から捉えられた市場のニーズに、多様なグループ内の技術的資源を使って「チーム日軽金」として応え、新たな価値をもった商品を提供していく事こそ、当社グループの使命であり、強みの源泉でもあります。

2024年度に、新商品開発・新事業創出の実行部隊として、新たにマーケティング&インキュベーション統括室を設置しました。既存の事業領域や技術分野に加えて、新たな市場分野の開拓や外部の技術領域との連携の可能性も含め、新たな価値の提供を行っていきます。